

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本  
スペシャルオリンピックス世界大会及び海外招待大会選手団派遣基準

1) 基本原則

能力レベルの程度を問わず、全てのアスリートに対して、次の上位レベルの競技会で競技するチャンスを等しく与えるものとする。

2) 世界大会出場資格

(アスリート)

アスリートは、以下の基準を全て満たす者の中から、「選手団アスリート・コーチ選考委員会」(以下、「選考委員会」という。)が選考する。

1. スペシャルオリンピックス(以下、「SO」という。)日本の認定コーチの指導のもと、SOIの定めるルールに基づいたトレーニングプログラムに参加していること。
2. 世界大会に先だって開催される SO 日本ナショナルゲームにアスリート(選手)として参加していること。(公式記録を残していること。)また、SO 日本理事会において SO 日本ナショナルゲームとは別に世界大会出場選考会として承認を受けた競技会・大会(以下、公認競技会という)に参加し、公式記録を残していること。
3. 世界大会で出場する競技種目は、原則として、1,2 に記載されたトレーニングプログラム及びナショナルゲームまたは、公認競技会における競技種目と同一のものであること。ただし、アスリートは、SO 日本が定める適切なトレーニングを受けた上で、別の種目に出場することができる。
4. 派遣前の選手団オリエンテーション、合宿等に必ず参加できること。
5. 2週間以上の期間を、選手団のみで行動できる体力、精神、自立度、社会適応力があること(競技の能力レベルはこれに含まない。)
6. 会場への往復の移動期間を含めて10日以上を要する大会は、中学卒業標準年齢(大会当日)以上であること。  
注) SON では、過去の派遣経験から、世界大会においては、その大会開催期間の長さ、移動距離、精神的な影響などを考慮し、シニアクラス\*以上のクラスへの参加が適していると判断している。(\*シニアクラス: SO のディビジョニングにおける16-21歳の年齢枠のこと。)
7. 原則として、発達障害(学習障害、注意欠陥多動性障害等)のみを有する者ではないこと。ただし、SO 日本は、そのような者からの参加申請があった場合、その参加の可否について、個別に国際本部に確認し、出場が認められる場合がある。

(パートナー)

1. アスリートの出場資格に準ずる。ただし、第2項および第3項については「アスリート」を「パートナー」と読み替えて適用するものとし、第7項については適用しない。

(コーチ)

コーチは、以下の基準を全て満たす者の中から、選考委員会が選考する。ただし、ナショナルゲームまたは公認競技会に実行委員として参加した者で、下記の1,2,4,5を満たし、かつ地区組織会長又は理事長の推薦がある場合には、基準を満たす者とみなす。

1. SO のコーチとして、SO トレーニングプログラムで少なくとも10時間以上のコーチングを経験していること。
2. SO 日本の認定コーチとして登録されていること。

3. 世界大会に先だって開催される SO 日本ナショナルゲーム、あるいは、公認競技会に、コーチまたは、団長、副団長、追加スタッフとして参加経験があること。
4. 世界大会で出場する競技種目は、原則として、1,2 に記載されたトレーニングプログラム及びナショナルゲーム、または公認競技会における競技種目と同一のものであること。ただし、ナショナルゲームに団長、副団長、追加スタッフとして参加した場合はこの限りでない。
5. 派遣前の選手団オリエンテーション、合宿等に必ず参加できること。
6. 地区組織会長又は理事長の推薦があること。

(団長・副団長)

選手団団長、副団長は、以下の基準を全て満たす者の中から、代表理事が選定する。

1. SO の使命や理念を十分に理解し、スポーツプログラムをはじめその他の活動に積極的に参加している者であること。
2. SO をはじめ、スポーツや障害のある人たちへの理解が深く、的確な判断とリーダーシップで選手団を統率できる者であること。
3. 派遣前の選手団オリエンテーション、合宿等に必ず参加できること。
4. 選手団と事務局との連絡を密にとることができること。
5. 大会参加後、報告書を提出し、報告会にも参加できること。
6. 大会参加後、SO 日本の活動に寄与できること。

### 3) 選手団アスリート、コーチ選考方法

1. 世界大会へ派遣する選手団アスリートは、2)に定める参加資格を満たす者の中から、SO スポーツルール総則「上位レベルの競技会への進出条件」の定める手順に従い、選考委員会が選考する。
2. 選手団コーチは、2) に定める参加資格を満たす者から、選考委員会が、原則として無作為抽選により選出する。その際、なるべく幅広い年齢層で構成するものとする。
3. 選考委員会は、アスリート又はコーチの選考に際し、必要に応じてアスリート又はコーチの選考合宿を行うことができる。
4. 選手団追加スタッフについては、選手団の構成を考慮し、団長が推薦する。
5. 選出されたアスリート、コーチがやむを得ない事情で大会に参加できない場合は、エントリー締切り前については、本項に定める方法により再選考を行うものとする。

### 4) 選考委員会構成メンバー

1. 選考委員長は、SO 日本理事長、副理事長、またはスポーツプログラム委員会担当理事の中から、互選により 1 名を選定する。
2. 選考副委員長は、SO 日本常務理事とする。
3. 選考委員は、ナショナルゲーム実行委員長、世界大会団長又は副団長、SON スポーツプログラム委員長、および地区組織を代表する者の中から代表理事により選定された者、合計 4 名とする。

## 5) 選手団費用分担金

世界大会)

アスリート

地区組織：SO 日本 1：1

\*アスリート個人の負担額及び割合は、各地区組織がその裁量により決定するものとする。

コーチ、団長、副団長 全額 SO 日本負担

\*選手団ファミリーについて

選手団ファミリーの世界大会応援参加は、任意であり自己負担とする。

ただし、事前オリエンテーション参加経費（交通費等）については、地区組織及びSO 日本で負担（地区組織：SO 日本＝1：1）とするが、地区組織負担分における本人負担額及び割合は、地区組織がその裁量により決定するものとする。

海外招待大会)

アスリート、コーチ

全額地区組織の負担とする

\*アスリート又はコーチ個人の負担額及び割合は、各地区組織がその裁量により決定するものとする。

団長

地区組織：SO 日本 1：1

### 附 則

1. この基準の改廃は、理事会での承認をもって行う。
2. この基準は平成24年（2012年）12月6日から施行するものとし、同年4月1日から適用する。
3. 改正 平成29年（2017年）9月28日
4. 改正 平成30年（2018年）3月2日